

昨年（2020年）の休校時の白川郷学園オンライン教育の 環境構築事例

2/27

一斉休校

2/28

教育委員会打診

3/2週

教員向けZOOM接続体験

3/9週

教員向けZOOM初心者講習

各家庭におけるWiFi環境調査

接続マニュアル作成

接続マニュアル&ポケットWiFi配布

3/16

接続開始（朝の会）

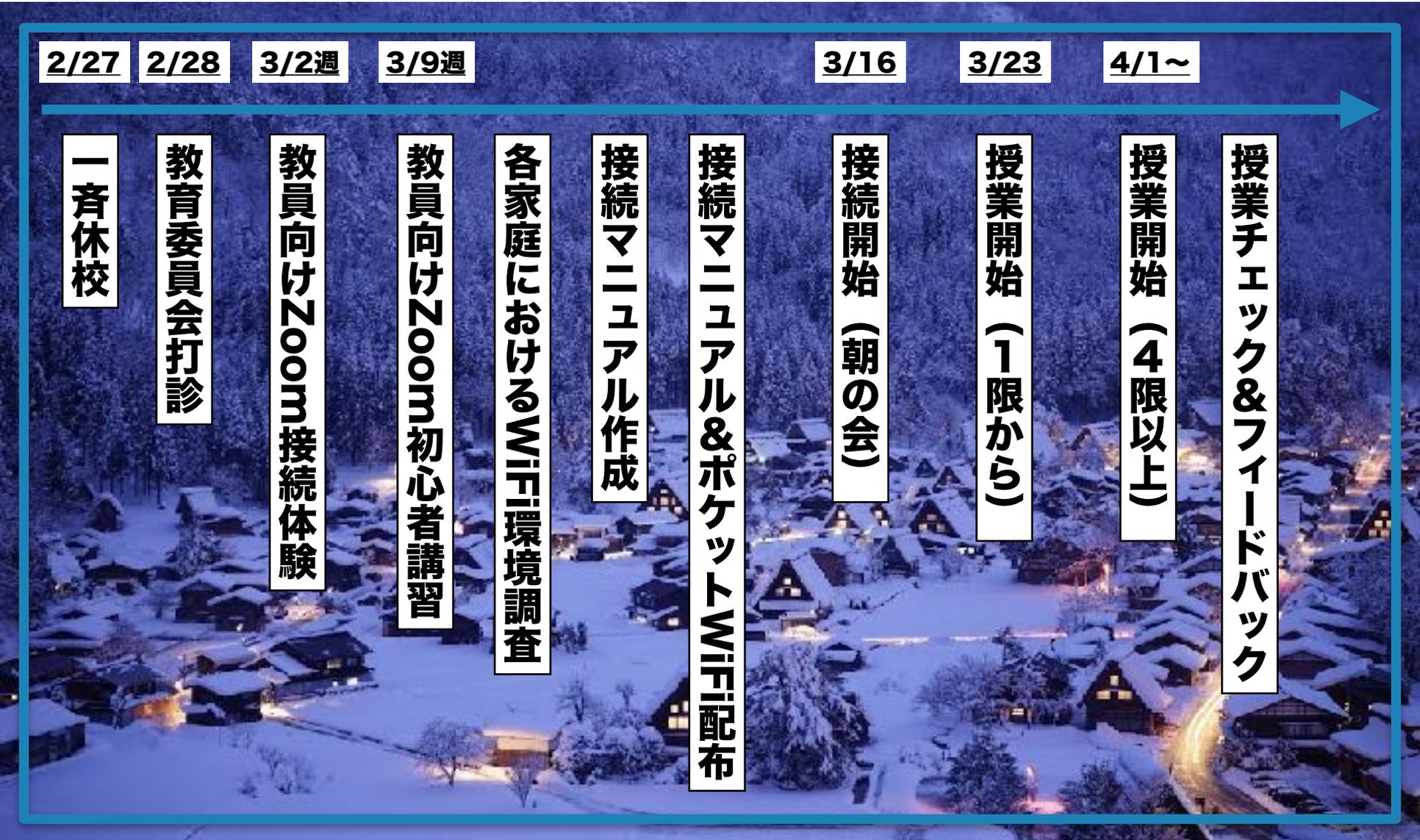
3/23

授業開始（1限から）

4/1～

授業開始（4限以上）

授業チェック&フィードバック

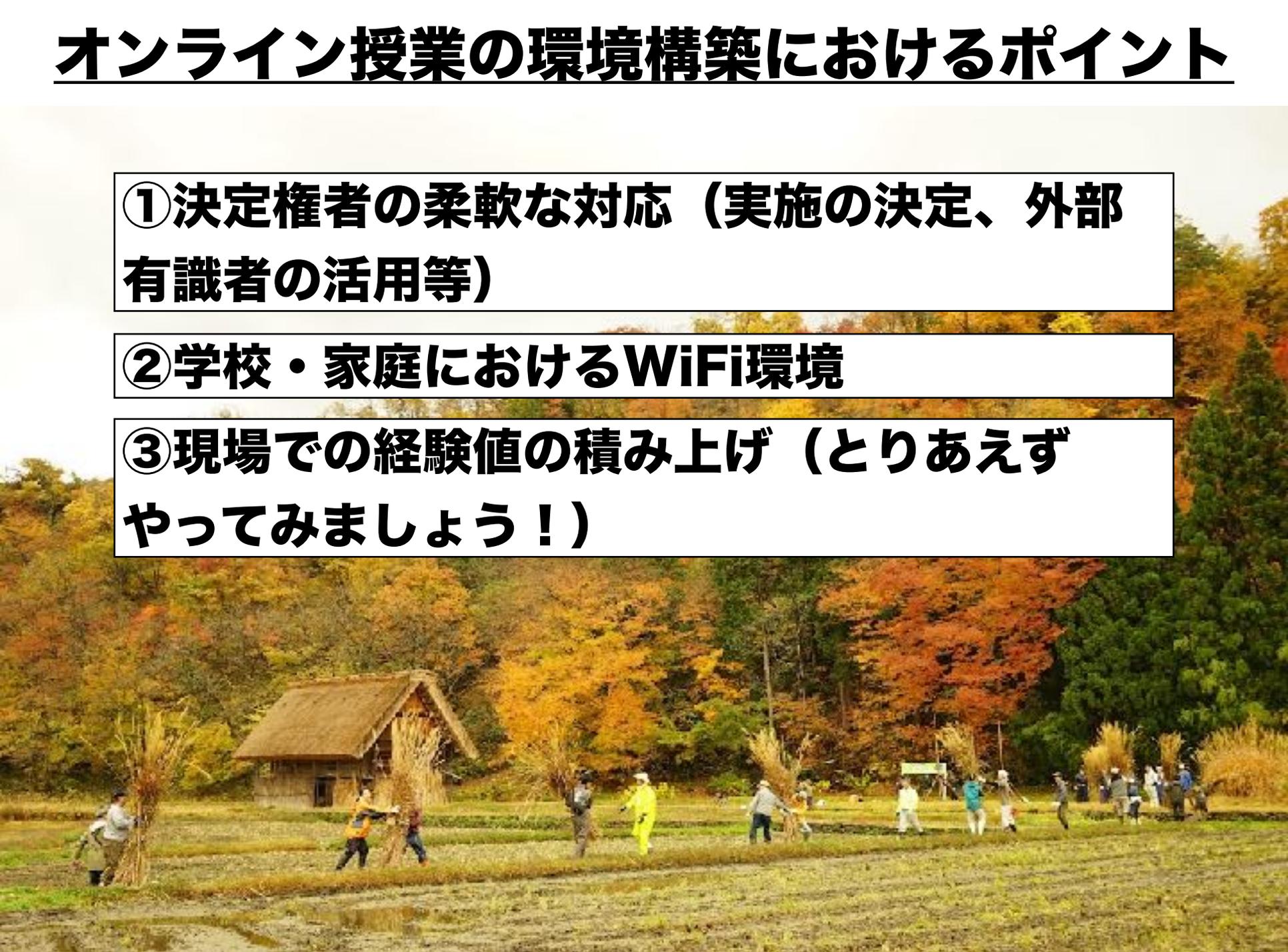


オンライン授業の環境構築におけるポイント

①決定権者の柔軟な対応（実施の決定、外部有識者の活用等）

②学校・家庭におけるWiFi環境

③現場での経験値の積み上げ（とりあえずやってみましょう！）



Zoomでオンライン授業をするにあたり 先生に知っておいてほしい事

体験してみよう！

- ①ミュートの使い方・ビデオの使い方
- ②ギャラリービューとスピーカービュー
- ③チャット・手の挙げ下げ
- ④画面共有
- ⑤ブレイクアウトルーム

理解しよう！

- ⑥大事な話はマイクを奪われないように（ミュートと無音のジェスチャー）
- ⑦慣れるまで自分で話して操作するのは大変⇒最初は他の先生にサポートしてもらいましょう
- ⑧オンライン授業は音声と文字を活用する事で価値を発揮する

【参考資料】 4/8のオンライン授業のフィードバック

・ミュートの使い方

話の内容によって使い分けが重要。例えば、接続時はフリートークで場を温め、授業が始まったら、ミュートで制御。生徒のON/OFFの意識付け。

・先生も生徒もジェスチャーはいつもより大きさに

相槌・意思表示が重要に。生徒の眠気防止にも一役買います

・生徒同士のチャットは制限すべきか？

設定で変更可。プライベートでやりとりできてしまう

・どういう授業をやりたいかが重要

適切なやり方はそれ次第。個別最適化が必要。黒板を利用する先生はヘッドセット使うとか

・オンラインは通常の授業よりも前提が大事・生徒の方が使いこなせます

その上で生徒にホストをさせる、スムーズに進められるよう生徒にお願いする、あるいは誰が何をするかを明確に。また、冒頭に出来ないと言った先生達良かったです

【参考資料】 4/14のオンライン授業のフィードバック



・バージョン更新について

最新バージョン（4.6.10）に変更願います。最近の荒らし行為を防ぐためのセキュリティが向上してま
す。PCでは新規にセキュリティボタンが設置済み。これにより、「参加者の画面共有のON/OFF」や「ミー
ティングのロック」など、会議中に適宜、変更可能になってます。

※タブレットではセキュリティボタン利用不可のため、PCをホストとした開催を推奨（なお、共同ホスト
でも利用可）。

・生徒の接続不安定などの不具合対応について

発生後、第三者に依頼して当該生徒の対応をお願いしましょう。授業と問題確認の役割を分担することで授
業の中断を防げて、改善する可能性が高まります。

<第三者の確認すべき事項>

- ①生徒側のインターネットの接続に問題があるか？⇒生徒へsafari等の接続可否・電波マークの状況につい
て確認
- ②生徒のipadの不具合か？⇒他のアプリ等の利用可否について確認・電源ON/OFFによるipadの再起動
も試してみる
- ③先生側のインターネットの接続及びPC・ipadの不具合か？⇒複数の生徒が不安定になる場合はこの可能
性が高まります

⇒本日、生徒側のインターネット接続による不具合が濃厚であったため、2名の生徒を家庭内Wifi、1名を
ポケットWifiに接続させて複数兄弟家庭の通信容量を分散させて対応済み